

山の日情報

(第 29 号)

令和3年6月21日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

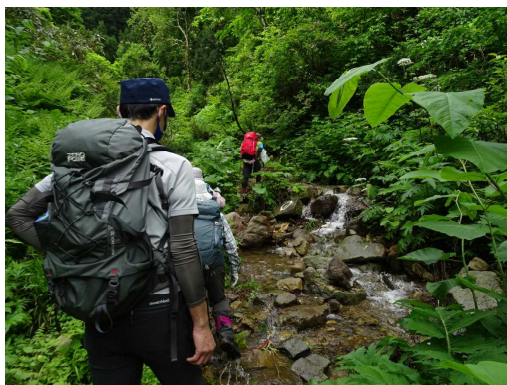
県自然保護課では、令和3年度も山の環境整備を行うボランティア事業を4回予定しています。その第1回目を6月5日(土)に実施し、18名の方にご参加いただきました。

今回は真木真昼県立自然公園で初めて実施し、真昼山の赤倉コースにおいて、登山道の標柱へ新しい案内プレートを取り付ける作業とごみ拾いを行いました。嬉しいことに、ごみはほとんど見つからず、マナーが守られ、美しい環境が保たれていることが感じられました。

赤倉コースは、赤倉口分岐で真昼山方向と音動岳方向にコースが分かれるため、今回は参加者を2班に分けて作業することとし、取り付ける標柱は各班3本ずつとしました。(1班は真昼山方向へ、2班は音動岳方向へ)

このコースは、序盤は沢沿い、中盤は林間、終盤は稜線沿いを進み、様々な山の表情を楽しむことができるコースです。朝は曇りでしたが、次第に晴れが広がり、新緑を楽しみながらの作業となりました。

プレートをビス留めする電動ドライバーの扱いにも次第に慣れていき、作業はだんだんとスピードアップ。ほぼ予定どおりに進み、最後に作業した真昼山と音動岳の各山頂の標柱前で記念撮影を行い、下山しました。





← 1 班

真昼山山頂にて



2 班→

音動岳山頂にて

登山道に設置された標柱は、道迷いを防ぐためにもなくてはならないものです。そのほか、山に慣れていない筆者のような初心者には、「山頂まであと〇〇キロか、もう少し頑張ろう！」というモチベーションを高めてくれる存在にもなっています。

こうした登山道や標柱は当たり前のように整備されているように感じてしまいますが、これらは山岳会や美化団体、行政含め、地元の方々の努力により維持されています。山に登る際には、ぜひそうした方々の活躍にも思いを馳せてみてください。

※真昼山周辺においては、今回の赤倉コースだけではなく、峰越林道や善知鳥コースの標柱も、地元の方々のご尽力により新しいものに交換されています。

このボランティア事業に対しては、今年も引き続き、明治安田生命相互保険会社秋田支社様から、参加者に飲み物を提供していただいています。たくさんの方々に支えられ、今年も事業を行うことができいております。この場を借りて、ご支援に感謝申し上げます。